

## 新社長インタビュー

オプテック 大原 茂之 氏



―社長就任までの経緯は。

大原 東海大学時代、同じ研究室の教授からの依頼で歯科用レセコンを開発。その経験を基に、卒業生を集めて2005年に大学ベンチャーとして当社を設立しました。会長として従事し、今年6月にビジネス改革を目的に現職に就きました。

―現在抱えている課題は。

大原 重要課題は企業文化の創造です。社員一人一人が仕事に情熱と誇りを持ち、お互いを尊敬し合いながら、各自が成長し、社会貢献へとつなげる文化の定着です。さらに、職位の階層にとらわれずに主張できる場にした。この文化が相乗効果をもたらし、ユーザーはもちろん、歯科業界にも貢献していけると考えています。

―製品開発の方向性は。

大原 方向性はイノベーションへの挑戦です。最新の「One3」では、患者が抱える問題ごとの治療の流れを時系列で記録するPOM(問題指向型マトリックス)を搭載していま

## DXに取り組み、成果を歯科業界に還元へ

(おおはら・しげゆき)  
東海大学名誉教授、工学博士。専門分野はソフトウェア工学、組み込み技術など。  
他に情報処理推進機構、私立大学情報教育協会などの委員会活動。  
趣味:古武術、呼吸法、囲碁、水泳など

す。通常の治療順序の記録との間で相互に変換もできます。他に治療中の音声記録を文字に変換してカルテ作成を支援するアプリ、さらにAIが病名から治療計画候補を探索し、その治療内容を画像や動画で分かりやすく説明できるアプリも提供します。これらのアプリは他社製品へ供給できるように検討中です。多くの歯科医院でご利用いただければと思います。

―これからの事業展開については。

大原 デジタル技術の推進が新たな価値を生み出す「デジタルトランスフォーメーション(＝DX)」に取り組んでいきます。モノの販売からライセンスビジネスへ、そしてデータ指向のビジネスへとイノベーションが起きています。弊社は経産省や厚労省、IT系業界団体による「DXプロジェクト」に参加し、得られた成果を歯科業界に還元してまいります。

-

